

食農連携のコーディネーターを目指す方必見！



参加  
無料

農林水産省支援 平成21年度 食農連携機能高度化支援事業

## 食農連携のための現地コーディネーター研修

# 農業者と食品産業

# のマッチング

～食農連携に携わる現地コーディネーターの持つべき視点～

### ● 参加者募集 (先着30名様まで)

日時：平成22年1月29日(金)  
14:00～17:00

場所：豊橋サイエンスコア  
視聴覚室 (豊橋市西幸町字浜池333-9)

※申込みは、裏面の参加申込を事務局までお送りください

### 【研修の狙い】

現在、食をととした地域活性化等を目的とし、農商工連携や食農連携など、『連携』をキーワードとした多くの取組みが各地域で推進されています。

これらの多くは、連携構築を進める生産者や事業者の役割に加え、その活動をフォローし、連携の枠組を差配するコーディネーターの手腕により、成果達成が大きく左右されると思われます。

この度、(社)食品需給研究センターでは、農林水産省の平成21年度「食農連携機能高度化支援事業」の一環として、現在、連携業務に取り組むコーディネーターもしくは、これからコーディネーター等を目指す地域のみなさまを対象に、食農連携のコーディネート業務のポイントの一つとなる「農業者と食品産業のマッチング」をテーマとした研修を行います。

本研修は、現地コーディネーターが、地域における食農の現状及びその地域を取巻く周辺の概況を理解し、農業者と食品企業をマッチングさせるために必要な視点を把握することを目的としております。

### 【プログラム】

講義 14:00～15:30

#### 農業者と食品産業のマッチング

～食農連携に携わる現地コーディネーターの持つべき視点～

【講師】株式会社キースタッフ

代表取締役 鳥巢 研二氏

地域特産加工品の開発と販売や、地域農水産業を活かした産業おこし支援に深く関わってきた講師が、農業者と食品産業のマッチングに関し、ミスマッチを解消するための方法や、コーディネートに関するポイントを、事例を交え、わかりやすく説明します。



意見交換会 15:40～17:00

#### ① 事例報告 (20分)

～豊橋サイエンスクリエイティブの食農連携に関する取組み事例～

- ・豊橋農産物のペースト化(一次加工)
- ・次郎柿、田原産アースメロンの海外展開を見据えたブランド向上 など

#### ② 意見交換会 (60分)

豊橋の食農連携の取組みに関する事例報告をもとに、鳥巢講師よりアドバイスをいただきながら、研修参加者全員で、農業者と食品産業のマッチングに対する留意点などを話し合います。

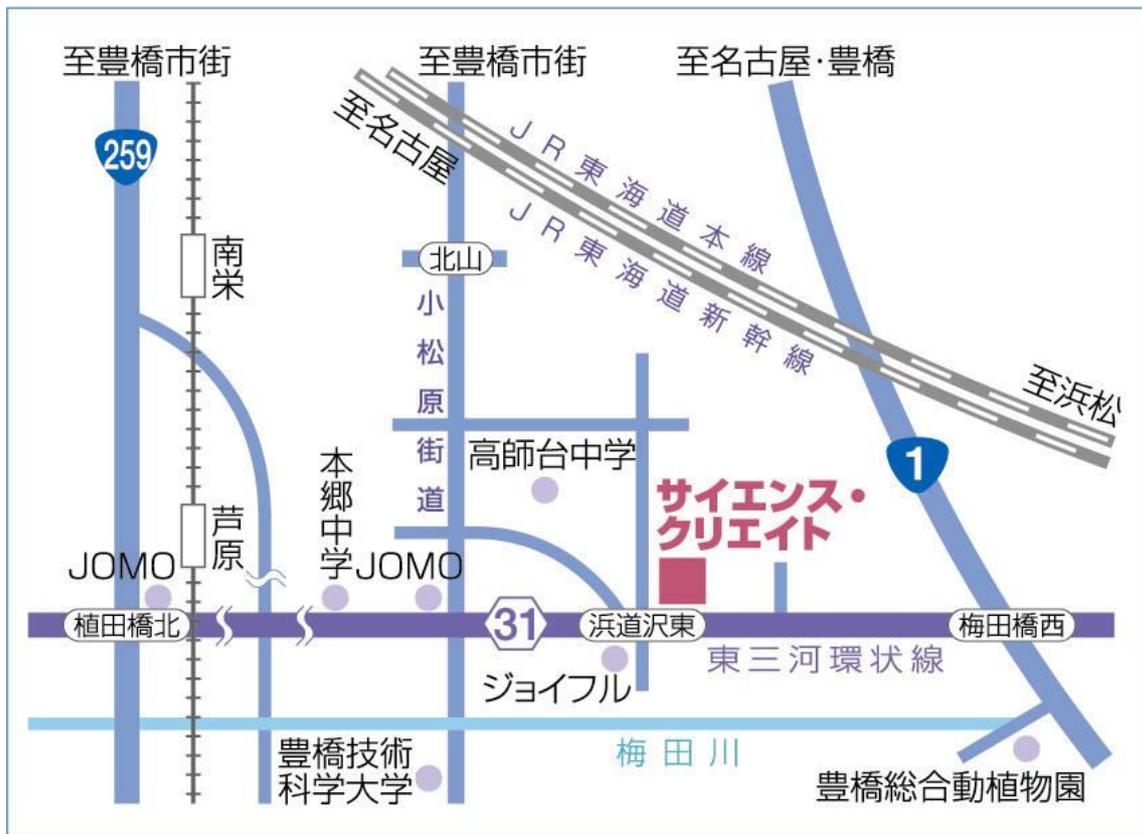


主催：(社)食品需給研究センター

共催：東海農政局、食農産業クラスター推進協議会 (豊橋市)

## ■アクセス

会場:豊橋サイエンスコア (住所:豊橋市西幸町字浜池333-9)



### <交通アクセス>

(電車&タクシー)

1. JR東海道線「二川」駅よりタクシーで約6分
2. JR線・名鉄線「豊橋」駅よりタクシーで約20分

(バス)

1. 豊橋駅前4番線のりばから豊鉄バス  
天伯団地線「サイエンスコア入口」「サイエンスコア」下車すぐ
2. 豊橋駅前2番線のりばから豊鉄バス  
豊橋技科大線「浜道」下車 東へ徒歩10分

## 申し込み方法

参加をご希望される方は、**平成22年1月26日(火)**までに、①所属/主な職務内容(事業活動地域など)、②連絡先(住所、電話、E-mail)、③氏名をご記入の上、E-mailまたはFAXにて下記宛てにお申込みください。

申込先: (社)食品需給研究センター 調査研究部 食料産業クラスターチーム宛

E-mail: cluster@fmic.or.jp / Fax: 03-5567-1960

所 属	
主 な 職 務 内 容 ( 事 業 活 動 地 域 )	(※実践研修の際に必要な情報となります)
住 所 T E L E - m a i l	( )
氏 名	

※ご連絡頂いた個人情報、本研修の運営以外に使用いたしません。

【お問合せ先】 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3 農業技術会館3F

社団法人 食品需給研究センター 調査研究部 食料産業クラスターチーム 松崎(まつざき)、長谷川(はせがわ)

TEL:03(5567)1991 FAX:03(5567)1960 E-Mail:cluster@fmic.or.jp